



平成26年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月14日

上場会社名 株式会社 サカタのタネ

上場取引所 東

コード番号 1377 URL <http://www.sakataseed.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂田 宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長兼経理部長 (氏名) 宇治田 明史

TEL 045-945-8800

四半期報告書提出予定日 平成26年1月14日

配当支払開始予定日

平成26年2月13日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第2四半期の連結業績(平成25年6月1日～平成25年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第2四半期	24,278	12.2	2,179	65.0	2,339	36.5	1,508	0.6
25年5月期第2四半期	21,637	1.0	1,320	△17.1	1,713	4.3	1,499	98.4

(注) 包括利益 26年5月期第2四半期 2,649百万円 (299.5%) 25年5月期第2四半期 663百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第2四半期	33.51	—
25年5月期第2四半期	33.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年5月期第2四半期	94,051	79,681	84.6
25年5月期	89,787	77,686	86.4

(参考) 自己資本 26年5月期第2四半期 79,546百万円 25年5月期 77,577百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	10.00	—	15.00	25.00
26年5月期	—	10.00	—	—	—
26年5月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年5月期の連結業績予想(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	3.4	3,300	48.7	3,500	△1.8	2,500	△19.3	55.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年5月期2Q	48,410,750 株	25年5月期	48,410,750 株
26年5月期2Q	3,404,082 株	25年5月期	3,403,243 株
26年5月期2Q	45,007,206 株	25年5月期2Q	45,008,326 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に関する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際に業績は、今後様々な要因によって予測数値に異なる結果になる可能性があります。業績予想に関連する事項については、4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期 純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円)
26年5月期 第2四半期	24,278	2,179	2,339	1,508	33.51
25年5月期 第2四半期	21,637	1,320	1,713	1,499	33.31
前年同期比	2,641	858	625	8	0.20
増減率	12.2%	65.0%	36.5%	0.6%	—

当第2四半期連結累計期間（平成25年6月1日から平成25年11月30日まで）における世界経済を見ますと、米国では、堅調な個人消費や住宅投資に下支えされ、緩やかな回復基調を維持しており、また欧州経済においても2期連続のプラス成長を示すなど景気持ち直しの兆しが見られます。新興国経済は、中国では景気減速が一服しつつある一方、インド経済は低迷が長期化し、またブラジルにおいても景気低下傾向が続いております。

わが国経済は、公共投資や住宅投資などの高い伸びや、円安を背景とした輸出拡大などにより、緩やかに回復しつつあります。

当種苗業界は、依然として国内需要は頭打ちの状況が続いておりますが、海外におきましては、新興国を中心に、野菜種子、花種子の需要は拡大を続けております。

このような状況のなか、当社グループにおいては、国内卸売事業は野菜種子、苗木を中心に好調に推移いたしました。海外卸売事業においても野菜種子が順調に売上を伸ばし、前年同期比増収となりました。小売事業は、猛暑などの天候不順の影響などから、厳しい状況となりました。

当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は242億78百万円（前年同期比26億41百万円、12.2%増）と増収となりました。営業利益は21億79百万円（前年同期比8億58百万円、65.0%増）となり、経常利益も、為替差損が1億28百万円（前年同期は為替差益91百万円）発生しましたが、23億39百万円（前年同期比6億25百万円、36.5%増）と増益となりました。四半期純利益につきましては、固定資産売却益、投資有価証券売却益などの特別利益が前年同期に比べ大きく減少したことなどから15億8百万円（前年同期比8百万円、0.6%増）と前年同期比ほぼ横ばいとなりました。

当第2四半期連結累計期間の海外連結子会社等の財務諸表項目（収益及び費用）の主な為替レートは、次のとおりです。なお第1四半期の連結対象期間は4-6月、第2四半期の連結対象期間は7-9月です。

	当第1四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
米ドル	98.63円 (79.31円)	97.75円 (77.61円)
ユーロ	128.56円 (98.73円)	131.90円 (100.22円)

注：（ ）内は前年同期の換算レート

セグメント別の業績の概要は次のとおりです。

①国内卸売事業

国内卸売事業は、野菜種子、苗木、球根などが売上を伸ばし、前年同期比増収となりました。

野菜種子はトマト、ブロッコリー、ニンジンなどが好調に推移し前年同期比増収となりました。一部の商品では前倒し需要が発生しました。花種子は全般的には、前年同期比減収となりましたが、戦略商品のパンジー、ヒマワリなどの新シリーズは好調に推移しました。苗木は種子からセル苗の需要の変化に対応し、トマト接木苗、トルコギキョウ、パンジーのセル苗などが売上を伸ばし、前年同期比増収となりました。

資材においては、ジフィー製品、農薬などの売上は伸び悩みましたが、フィルム製品や農機具などが好調に推移し、売上高は前年同期比横ばいとなりました。

これらの結果、売上高は、前年同期比2億91百万円（同3.7%）増の82億44百万円となり、営業利益は同比2億3百万円（同6.6%）増の32億72百万円となりました。

②海外卸売事業

それぞれの地域別の状況をみますと、アジア向け輸出は、ブロッコリーが大きく伸びたことから前年同期比増収となりました。北米では、野菜種子、花種子ともに現地通貨ベースでは前年同期比減収となりましたが、円安の効果もあり、円ベースでは前年同期比増収となりました。欧州は、ブロッコリー、メロンなどの野菜種子が好調に推移し、前年同期比増収となりました。南米においても、野菜種子が順調に売上を伸ばし、前年同期比増収となりました。

品目別では、野菜種子はブロッコリー、トマト、ニンジン、カボチャなどが伸びたことから、前年同期比増収となりました。花種子につきましては、円安の影響で円ベースでは前年同期比増収となりましたが、現地通貨ベースにおいては、南米をのぞく地域で減収となりました。

これらの結果、売上高は、前年同期比30億64百万円(同32.3%)増の125億65百万円となり、営業利益は8億24百万円(同44.4%)増の26億82百万円となりました。

③小売事業

ホームガーデン分野は、夏の記録的な猛暑と秋終盤の急激な気温低下などの天候不順に加え、不採算商品の販売縮小を行ったことから、売上高は前年同期比大きく減収となりました。一方、利益面は、不採算商品の見直しや物流コストの圧縮をおこなったことから、前年同期比微減となりました。

通信販売分野は、野菜種子、花種子が伸び悩んだことや、バラ苗出荷を後ろ倒ししたことなどにより、前年同期比減収となりました。

ガーデンセンターでは、夏の猛暑、11月中旬以降の冷え込みの影響により、園芸作業関連資材の販売が伸び悩みましたが、店舗新装による来客数の増加に加え、11月立ち上げたネットショップ「サカタのタネっと」による新規売上などの効果もあり、売上は前年同期比微減にとどまりました。

これらの結果、売上高は、前年同期比4億53百万円(同9.5%)減の43億29百万円となり、営業損益は13百万円改善し、4億10百万円の損失(前年同期は4億23百万円の営業損失)となりました。

④その他事業

造園緑花分野は、官公庁工事、芝生成成管理などが増加しましたが、屋上緑花植栽工事、緑花苗販売などが伸び悩んだことなどから、前年同期比減収となりました。

これらの結果、売上高は前年同期比25百万円(同10.9%)減の2億12百万円となり、営業損益は8百万円悪化し、32百万円の損失(前年同期は24百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

	前連結会計年度末	当第2四半期 連結会計期間末	増減
総資産(百万円)	89,787	94,051	4,264
純資産(百万円)	77,686	79,681	1,994
自己資本比率	86.4%	84.6%	△1.8%
1株当たり純資産(円)	1,723.66	1,767.45	43.79
借入金の残高(百万円)	2,131	3,417	1,285

①資産の部

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ42億64百万円増加し、940億51百万円となりました。これは現金及び預金が44億72百万円、たな卸資産が14億21百万円、投資有価証券が5億50百万円増加し、受取手形及び売掛金が26億61百万円減少したことなどによるものです。

②負債の部

負債合計は、前連結会計年度末に比べ22億70百万円増加し、143億70百万円となりました。これは長短借入金が12億85百万円、未払法人税等が2億64百万円、その他流動負債が3億38百万円増加したことなどによるものです。

③純資産の部

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ19億94百万円増加し、796億81百万円となりました。これは利益剰余金が8億32百万円、その他有価証券評価差額金3億63百万円、為替換算調整勘定が7億73百万円増加したことなどによるものです。

(連結キャッシュ・フローの状況)

	第2四半期累計期間		増減 (百万円)
	25年5月期 (百万円)	26年5月期 (百万円)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,985	4,646	1,661
投資活動によるキャッシュ・フロー	△646	△1,859	△1,212
財務活動によるキャッシュ・フロー	△776	443	1,219

連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ34億円増加し（前第2四半期末に比べ25億92百万円増加）、106億34百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によって得られた資金は46億46百万円（前年同期比16億61百万円増）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益23億81百万円、減価償却費8億81百万円、売上債権の減少による資金の増加31億4百万円、棚卸資産の増加による資金の減少9億17百万円、未払金の減少による資金の減少6億17百万円、法人税等の支払いによる資金の減少5億2百万円などによるものです。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によって使用した資金は18億59百万円（前年同期比12億12百万円減）となりました。これは主に、定期預金の純増による支出9億97百万円、有形固定資産の取得による支出7億92百万円、無形固定資産の取得による支出1億3百万円などによるものです。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によって得られた資金は4億43百万円（前年同期比12億19百万円増）となりました。これは主に、短期借入金の純増による収入12億17百万円、配当金の支払額6億88百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

直近の業績の進捗を踏まえ、通期の業績予想の見直しを行った結果、平成25年7月12日に公表しました平成26年5月期の連結業績予想を修正しております。なお、今回、通期の予想為替レートを100円/US\$、135円/ユーロに変更しております。

詳細につきましては、本日発表の「第2四半期累計期間の業績予想値と実績値の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(税金費用の計算)

当社及び主たる国内連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,511	17,984
受取手形及び売掛金	13,841	11,179
有価証券	49	49
商品及び製品	18,233	19,259
仕掛品	1,146	1,241
原材料及び貯蔵品	2,212	2,379
未成工事支出金	24	157
繰延税金資産	1,557	1,581
その他	2,214	2,419
貸倒引当金	△371	△370
流動資産合計	52,419	55,882
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,387	26,860
減価償却累計額	△16,577	△17,082
建物及び構築物(純額)	9,809	9,777
機械装置及び運搬具	9,852	10,148
減価償却累計額	△7,808	△8,092
機械装置及び運搬具(純額)	2,044	2,056
土地	13,990	14,038
建設仮勘定	245	405
その他	2,742	2,901
減価償却累計額	△2,272	△2,328
その他(純額)	470	573
有形固定資産合計	26,560	26,851
無形固定資産	974	943
投資その他の資産		
投資有価証券	9,207	9,758
長期貸付金	162	153
繰延税金資産	132	129
その他	536	551
貸倒引当金	△205	△218
投資その他の資産合計	9,832	10,374
固定資産合計	37,367	38,169
資産合計	89,787	94,051

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,584	2,678
短期借入金	1,143	2,423
未払法人税等	618	882
繰延税金負債	28	27
役員賞与引当金	8	1
その他	3,531	3,870
流動負債合計	7,914	9,884
固定負債		
長期借入金	988	994
繰延税金負債	565	809
退職給付引当金	1,439	1,442
役員退職慰労引当金	467	481
負ののれん	1	0
その他	723	757
固定負債合計	4,186	4,486
負債合計	12,100	14,370
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,500	13,500
資本剰余金	10,823	10,823
利益剰余金	58,838	59,671
自己株式	△4,468	△4,469
株主資本合計	78,693	79,525
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,117	2,480
為替換算調整勘定	△3,232	△2,459
その他の包括利益累計額合計	△1,115	21
少数株主持分	108	134
純資産合計	77,686	79,681
負債純資産合計	89,787	94,051

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
売上高	21,637	24,278
売上原価	10,551	11,160
売上総利益	11,085	13,117
販売費及び一般管理費	9,764	10,938
営業利益	1,320	2,179
営業外収益		
受取利息	52	52
受取配当金	131	141
受取賃貸料	105	96
負ののれん償却額	0	0
為替差益	91	—
その他	50	47
営業外収益合計	431	339
営業外費用		
支払利息	24	36
為替差損	—	128
その他	14	14
営業外費用合計	39	179
経常利益	1,713	2,339
特別利益		
固定資産売却益	132	11
投資有価証券売却益	482	63
特別利益合計	615	74
特別損失		
減損損失	54	32
投資有価証券評価損	11	—
その他	21	—
特別損失合計	87	32
税金等調整前四半期純利益	2,241	2,381
法人税、住民税及び事業税	839	783
法人税等調整額	△106	85
法人税等合計	732	868
少数株主損益調整前四半期純利益	1,508	1,512
少数株主利益	9	4
四半期純利益	1,499	1,508

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,508	1,512
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	490	363
為替換算調整勘定	△1,336	772
その他の包括利益合計	△845	1,136
四半期包括利益	663	2,649
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	656	2,645
少数株主に係る四半期包括利益	6	4

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,241	2,381
減価償却費	803	881
負ののれん償却額	△0	△0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6	△17
受取利息及び受取配当金	△184	△194
支払利息	24	36
為替差損益 (△は益)	△31	33
減損損失	54	32
投資有価証券売却損益 (△は益)	△465	△63
投資有価証券評価損益 (△は益)	11	—
売上債権の増減額 (△は増加)	2,612	3,104
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,164	△917
仕入債務の増減額 (△は減少)	△814	△34
未払金の増減額 (△は減少)	△940	△617
その他	902	369
小計	3,056	4,993
利息及び配当金の受取額	175	188
利息の支払額	△24	△36
法人税等の還付額	38	4
法人税等の支払額	△261	△502
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,985	4,646
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,007	△1,574
定期預金の払戻による収入	402	577
有形固定資産の取得による支出	△649	△792
有形固定資産の売却による収入	160	5
無形固定資産の取得による支出	△147	△103
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	548	63
その他	46	△33
投資活動によるキャッシュ・フロー	△646	△1,859
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,052	1,217
長期借入れによる収入	788	—
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△452	△688
その他	△58	△84
財務活動によるキャッシュ・フロー	△776	443
現金及び現金同等物に係る換算差額	△137	170
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,424	3,400
現金及び現金同等物の期首残高	6,617	7,233
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,042	10,634

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成24年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内卸売 事業	海外卸売 事業	小売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,676	8,993	4,782	21,451	185	21,637	—	21,637
セグメント間の内部売上高 又は振替高	276	507	1	785	52	837	△837	—
計	7,953	9,500	4,783	22,237	238	22,475	△837	21,637
セグメント利益又は損失(△)	3,069	1,857	△423	4,503	△24	4,479	△3,158	1,320

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、官公庁・民間向けの造園工事の施工、保険代理店業務、人材派遣業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,158百万円には、セグメント間取引消去36百万円、棚卸資産の調整額49百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,244百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の研究部門及び親会社本社の管理部門に係る費用等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいので記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内卸売 事業	海外卸売 事業	小売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,847	11,933	4,328	24,109	168	24,278	—	24,278
セグメント間の内部売上高 又は振替高	397	631	1	1,029	43	1,073	△1,073	—
計	8,244	12,565	4,329	25,139	212	25,351	△1,073	24,278
セグメント利益又は損失(△)	3,272	2,682	△410	5,544	△32	5,511	△3,332	2,179

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、官公庁・民間向けの造園工事の施工、保険代理店業務、人材派遣業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,332百万円には、セグメント間取引消去41百万円、棚卸資産の調整額6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,381百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の研究部門及び親会社本社の管理部門に係る費用等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいので記載を省略しております。